

「2030年における下川町のありたい姿(案)」への意見と回答

通番	意見	回答	所管課
1	公区回覧で来たのをざっと読んだだけなので、私の理解が足りなければ申し訳ないのですが、町の外からお金を持ってきて経済を回している林産業や農林業についての将来の位置づけがよくわかりませんでした。この点をどのように考えているのでしょうか。私はモノづくりを放棄した地域や国はいずれ衰退すると思っています。この「ありたい姿」が総合計画などの基本になるのであれば、この点ももう少し書き加えてほしいと思います。	ご意見ありがとうございます。 農業、林業・林産業は下川町の基幹産業であり、ありたい姿「(3)人も資源もお金も循環。持続するまち」に「農林業など産業のさらなる成長」を追記しました(P3)。 また、ありたい姿の解説において、地域内経済循環を重視した記載となっておりましたので、農林業等による「稼ぐ力」の強化について解説(P5)に追記しました。	森林総合 農務 環境未来
2	「…にも関わらず」というのは間違いで、漢字で書くのであれば「…にも拘らず」が正しいです。常用外なので「…にもかかわらず」とひらがなで書くべきです。	ご意見ありがとうございます。ご指摘のとおり修正いたしました。	環境未来
3	一の橋(産業の拠点) (1)薬草農場 ・王子ホールディングスとの連帯強化 ・ロボット化による機械化を図る ・通年作業 ・外部資金の収入を求める ・バイオマス (2)シカの家畜化育成 ・安定供給 ・シイタケ、薬草を原料にした餌 ・肉の軟質化、うまみの向上 ・部位が広がることによる歩留まり変わる ・飼料として商品化が可能になることで豚等の販売に活用できる ・事業化、起業の立ち上げにつながる	ご意見ありがとうございます。 一の橋においては近年、新たな産業が創造されており、さらに強化されるよう、「地域中小企業成長・起業促進(P7)」「生産効率向上に向けた先端技術導入実証事業(P7)」において機械化や技術開発、企業連携等を強化してまいります。	環境未来

通番	意見	回答	所管課
4	山びこ学園の移転 ・環境変化による心身の衛生管理の改善 ・職員の生活の利便と定着化 ・閉鎖思考の脱却 ・総合グラウンドの活用、グラウンドの半分は学園、職員住宅に利用 ・残りの半分は機械化による水耕栽培による野菜工場 ・給食センターに全品納入(不揃い、虫食い含む) ・バイオマス利用による通年操業 ・園生、高齢者、事業者	ご意見ありがとうございます。 現在の施設は建設から32年が経過し、施設の老朽化が進んでいるところです。山びこ学園の中心市街地への移転については、「中心市街地最適居住環境計画事業(P8)」においても検討しながら、次期総合計画等において方向性を検討してまいります。	山びこ 建設水道
5	総合給食センター(一元化) ・健康への配慮、管理された食事の提供 ・小中学校、病院、やまびこ学園、あけぼの園 ・健常者を含む高齢者、グループホーム、単身者等 ・保健師、病院、包括支援センター情報提供	ご意見ありがとうございます。 各施設の給食調理機能の一元化については、「医療介護福祉連携強化による安心地域構築事業(P8)」などにおいて、入所者等の状況や社会情勢等を踏まえながら、検討を進めます。そのうえで、平成30年度中に策定する次期総合計画において方向性を検討してまいります。 また、保健福祉・医療等の情報については、広報しもかわ等を通じて内容の充実を図ってまいります。	あけぼの 山びこ 病院 教育委 保健福祉
6	街なか(中心地の拠点) (1)役場本庁の移転 ・旧駅前通りに移転・分所化:住民との接点の多い課 ・他の課はハピネス、公民館、ターミナル等の公共施設を利用する (2)高齢者の休息空間の創設 ・時間曜日に制限なく自由に活用できる施設を創る ・コミュニティー機能とカルチャー機能を有する「地域貢献総合情報発信基地」	ご意見ありがとうございます。 中心市街地における機能については、「中心市街地最適居住環境計画事業(P8)」において検討してまいります。 なお、役場機能の分散につきましては、1箇所で手続きが終わらないなどの行政サービスの低下を招くおそれがありますので、様々な視点からの検討が必要と考えます。	総務 保健福祉
7	「2030年における下川町のありたい姿(案)」の内容がわかりづらいです。漢字が多い。町民に伝えるべき内容は誰が読んでもわかりやすい内容であって欲しい。また事業案と持続可能な開発目標(SDGs)とのつながりがわかりづらいです。	ご意見ありがとうございます。 「ありたい姿」全体において分かりやすい表現に修正いたしました。また、各打ち手案にはSDGsのアイコンを追加しました。	環境未来

通番	意見	回答	所管課
8	小規模多品種農産物生産に関して、どのように生産するかも重要だと思います。外部から購入する化学肥料・化学農薬を仕様しては、本 当の地産地消にはつながりません。生産者が自分たちで有機肥料を 作り、オーガニックな農家が増え、町内でオーガニック野菜を買える 町を目指したいですね。 自然食品のお店があるといい。	ご意見ありがとうございます。 「小規模多品種農産物生産と循環型流通システム創出事業(P6)」 においては、地消地産の視点を持った農産物生産が図られるよう 検討してまいります。	環境未来 農務
9	エネルギーを生み出すことばかりにとらわれなくて、省エネの部分も 意識した事業を期待したいです。	ご意見ありがとうございます。 省エネについてはこれまで同様に「しおりんポイント」(環境活動に対 するポイント付与)を継続するほか、新たな事業として「省エネ家電 レンタルシステム構築事業(P6)」を追加しました。	環境未来
10	どの部分でお金が町の外に流れているのかの見える化。そして、そ のオープン化。町民に広報などで明確にわかりやすく伝えてほしいと 思います。	ご意見ありがとうございます。 「(3)人も資源もお金も循環・持続するまち」の実現のためには、お 金の流れの見える化による地域内経済循環力の認識と強化が必要 と考えており、今後、定期的に分析結果を広報等でお伝えしま いります。	環境未来
11	ゴミに関して。ゴミの分別がたくさん多いことはいいことであるが、な ぜそれが必要なのか理解している町民は少ないと思います。ただ ただ町から言われたことをやっているだけの人が多いのではないでしょ うか。ただそれではゴミを分別している町民のモチベーションは上が りません。分別したゴミの行き先、それがどれくらいで売れて、どれく らい町に戻ってくるかの見える化をすることで、町民のモチベーショ ンが変わります。例えば、広報で「2018年度、町民のみなさんの分別の 努力で〇〇円、町に戻ってきました」など伝えるとか。またゴミの分別 だけでなく「そもそもどうやったら各家庭がゴミを生み出さずに済むの か」という部分も町民に教育、またはシステムを作っていくべきです。 例えば量り売りができるお店が増えれば、ビニールのゴミはかなり減 らせると思います。	ご意見ありがとうございます。 日頃から、ゴミの分別にご理解とご協力をいただきありがとうございます。 町民の皆さんのより一層のご理解をいただくため、ゴミ分別便 利手帳を配布し、ゴミの減量化や分別による削減効果などを進めて まいります。	税務住民
12	大人も子どもも自分の頭で考えて、行動できる人間になれるような取 り組みを実施したいです。それが持続可能で豊かな町を実現するの に必要な要素だと考えています。個人的に具体案あり。	ご意見ありがとうございます。 P4に「町民主体のSDGs課題解決推進事業」を追加しました。	環境未来

通番	意見	回答	所管課
13	起業するものは補助金が出る。従業員として下川町の会社でやってきたいもの、下川町に住みたいと思うだけの人間には遠方からくる場合であっても補助金が出ないのはおかしいと思う。金額というより、受け入れる姿勢をより見せるべきだと思う。例えば、面談で来る場合は、片道の交通費を負担、5年住めば中古の家をもらえるなど。	ご意見ありがとうございます。 町では、下川町中小企業振興基本条例に基づき、起業化への支援(P7)を行うとともに、平成28年度には「下川町産業活性化支援機構」に「タウンプロモーション推進部」を創設し移住促進・起業家の誘致と支援、事業者と就業者の人材マッチングに力を入れ取り組んでいるところです。今後においては、取組みを評価・検証のうえ、いただいたご意見も踏まえ、より効果的な手立てを講じてまいります。	環境未来
14	起業家をより求めるのであれば下川町に足りないことを具体例として示す(女性向けの美容院、料理店など)。公営住宅の立て直し等(見学に来てデザイン、老朽化を嫌う)。大学、専門学校を置く(高校卒業と同時に出ていく若者が著しいだろう)	ご意見ありがとうございます。 公営住宅については、「健康省エネ住宅の主流化事業(P5)」により、公営住宅や町営住宅の性能向上改修等を講じていく考えです。「女性向けの美容院、料理店など」につきましては、地域事業者のお考えや取組みが主となりますが、ニーズ把握や手立ての検討を関係者間で行っていく必要があります。また、大学、専門学校の誘致について、現在、北海道が設立予定の林業大学の誘致活動を進めておりますが、将来的には、オンライン大学などの可能性もあり、「生涯活躍！未来人材育成プログラム構築実証事業(P10)」など関連する事業の中で検討をしております。	環境未来
15	下川町の強みのある、農業、森林関係など人手不足を補う一つの方法として親が小さいころから子供に下川町で働くことを根付ける(公共の場では、コモレビでゲームばかりしている子供が目立つ)。	ご意見ありがとうございます。 子どもたちの育成と地域全体で育む環境が重要と考えたい姿「(7)子どもたちの笑顔と未来世代の幸せを育むまち」を設けており、「生涯活躍！未来人材育成プログラム構築実証事業(P10)」など関連する事業の中で検討をしております。	環境未来
16	町長など比較的ネームバリューがあるものが率先して、下川町と下川町民のために近年では、近隣都市ではやっていない婚活パーティー等を行うことが必要。若い女性の前に、せっかく下川町に永住を考え期待した若い男が地元や都心部に戻る、流れる。	ご意見ありがとうございます。 現在下川町でも、農家の後継者を対象とした婚活事業を行っております。近年は、ライフスタイルの多様化、晩婚化、LGBT(※)など社会情勢が急速に変化していく中で、下川町に住まれる方にとって最適な事業内容を検討しております。	環境未来

通番	意見	回答	所管課
17	(1)挑戦(3)自立・自律(5)温故起新が特に良いと思いました。	ご意見ありがとうございます。 今後ともありたい姿の実現へのご協力をお願い申し上げます。	環境未来
18	(1)と(3)に関連して、 SDGsなどの世界で決めた目標は尊重しつつ、引き続き、持続可能な社会に向けて町民それぞれがどういう生き方をするのかを自分の頭で考えていける下川であってほしいと思います。 「国連や国がこう言っているから」「町がこういう方針だから」という具合に外部に促されたり、教えられたり、ましてや無条件に従ったりするのではなく、試行錯誤しながら自分の生活を変えていける環境がある下川がとても好きです。その環境というのが、(1)にある「下川らしさ」だと感じています。	ご意見ありがとうございます。 より良い下川をいかにして創っていくかが一番大切で重要なことであり、このため町民委員が中心となって「ありたい姿」を描き、今後は実現のための計画を策定し打ち手(事業)を講じていきます。また、下川町を取り巻く社会潮流も見据えて、まちづくりを進めていくことも大切であり、SDGsはこれまで見落としていた地域課題の発見などに有効であり、まちづくりのツールとして活用していく考えです。また実現には、下川町が育んできた挑戦、包容力、寛容性などの「(1)下川らしさ」を体現していくことが大切であると考えております。	環境未来
19	(5)に関連して、 道端でおじさんが薪を切っている風景、保存食づくりの文化、吹雪だと遅刻が大目に見てもらえることもあるようなのんびりした雰囲気、冬はみんなほんのり煙くさくさなところなど、都会にはない下川のもともとの魅力が、人為的に失われることがないように気をつけていきたいなと思っています。	ご意見ありがとうございます。 ありたい姿の実現へのご協力をお願い申し上げるとともに、個人では解決できないお気づきなどがありましたら、随時お寄せください。	環境未来
20	(7)未来の関連では、 特に教育について、学校や教育委員会と、民間の習い事、学習塾、NPO法人、保護者らの間でざっくばらんに意見交換することの難しさを感じているので(呼びかけても受け入れてもらえない、意見を求められていない？ 関係者が多すぎて大変？)、そもそも下川の子供にどういう教育が必要なのか、この計画に関連して話し合える場があればうれしいです。	ご意見ありがとうございます。 いただいたご意見を踏まえ、様々な場面で意見交換等が可能となるよう、今後の計画策定及び「生涯活躍！未来人材育成プログラム構築実証事業(P10)」など関連する事業において、検討してまいります。	教育委 環境未来

通番	意見	回答	所管課
21	■脱炭素社会の実現について 脱炭素社会に向けては、環境負荷の低いエネルギーの導入と、無駄なエネルギー利用を削減する取り組み両方からのアプローチが必要だと思います。 再生可能エネルギーの導入、森林バイオマス活用推進など、環境負荷の低いエネルギーを作り出す取り組みは案が出ていますが、省エネなど無駄なエネルギーを削減する取り組みの案がないようなので、追加を提案します。「(6)進化・深化」に追加するか、他のエネルギー施策とあわせて「環境」など別項目を新設することを提案します。 具体的には、以下のような打ち手が考えられます。 ・省エネ機器等の導入 産業界への省エネ機械の導入促進や、家庭への省エネ家電への買い替えや住宅の高断熱化の促進により、生産性や快適性を損なうことなくエネルギー利用を減らしていく。 ・エコ・モビリティの推進 公共交通機関の利便性向上や、町内市街地の移動における徒歩や自転車の活用促進により、過度な車依存社会からの脱却を図ることでガソリン利用を減らしていく。 ・シェアリングエコノミーの導入 カーシェアリングやライドシェアの導入することで、新しい産業(シェアリングエコノミー)を創りながら、交通の利便性を損なわずに車利用(台数)を減らすことでガソリン利用を減らしていく。	ご意見ありがとうございます。 省エネについてはこれまで同様に「しおりんポイント」(環境活動に対するポイント付与)を継続するほか、新たな事業として「省エネ家電レンタルシステム構築事業(P6)」を追加しました。 また、単に環境負荷を減らすだけではなく、同時に経済活性化や社会課題解決を図っていく必要があります。 こうしたことから、エコモビリティの推進やシェアリングエコノミーの導入については、「生産性向上に向けた先端技術導入実証事業(P7)」、「中心市街地最適居住環境計画事業(P8)」を進める中で検討してまいります。	環境未来

通番	意見	回答	所管課
22	1. 挑戦(包容力・寛容性)の打ち手案 まず理事者、役場職員一人一人、各機関のリーダーが日常から実践することで、町全体へとそれを広げていってほしい。 そのためには、その精神とそうあるべき姿勢を学び、訓練し、育むことも必要。 批判的、独創的な考え、自分とは異なる意見をおおらかに聞き入れ、その意味、理由を理解しようとする心、その一方で自分自身の考えを丁寧に相手に伝えようとするのが大切だと思います。 (個々の意見を尊重し、なんでも言い合えることだと思います) 今後、高齢化や認知症が拡大し、失われていくことが危惧されます。認知症・発達障害などの知識を、子供から高齢者まで住民一人一人が身に着けることが重要です。また、高齢者一人一人が包容力と寛容性をもって、若者世代を支えていけるよう、そのために何が必要かを一高齢者学級、老人クラブ、パークゴルフ協会をはじめとする趣味の会を通じて学ぶ場を設けていくことも大切かと思います。	ご意見ありがとうございます。 ご意見を踏まえまして、本町の特性や「あるべき姿」を職員に根付かせ実践してまいります。 多様な意見交換について、町が開催する会議においては忌憚ない議論がなされるよう努めてまいります。 認知症や発達障害などの知識について、社会福祉協議会や地域のボランティアの方々の協力を得て、関係機関と連携しながら、普及を図るとともに、地域での支えあいが推進できるよう、取り組んでまいります。 高齢者化の進行について、寿命の延伸から「人生百年時代」とも言われ、身に付けている知識や技術を活かしたり学び直しなどにより「第2の人生」を送る時代へと変化しており、「多様な人材登用を可能にする支援機能構築事業(P5)」や「生涯活躍！未来人材育成プログラム構築事業(P10)」などを進める中で検討してまいります。	環境未来 保健福祉

通番	意見	回答	所管課
23	2. 包摂 4・安心の打ち手案 幅広い世代間の支えあいの好循環を生み出す必要があります。 高齢者が知恵・経験・時間を生かして、暮らしにゆとりのない若者世代・子育て世代を支えることで、若者世代が生まれたゆとりの中で高齢者を支えていくことで実現できるのではないかと。 全ての町民(子供含む)に名前を明記したアンケートを行い「こまっていること」、「自分が地域の人のために今できること」、「時間にゆとりが生まれたら、あるいは条件をクリアしたら、地域の人のためにできること」をお聞きし、こまりごとと できることをマッチング。支えあいの好循環を手助けできたかどうか。ポイント付加や有償もありかと思えます。 趣味のサークル活動へ、支えあい活動への参加を促し、参加するサークルへサークル活動支援の特典も検討する。(活動が定着するまでの期限付き) 高齢者が子守を支援する場合は、健康への知識と理解も重要。 子供に勝手にお菓子を与える高齢者には、安心して子供を預けられないでしょう。 交通安全を徹底する。交通ルールを守る町にする。 一時停止、追い越し禁止車線の追い越し禁止などはもちろん、制限速度も極力守るよう促していく。それが住民の安心につながる。 速度が過剰な車への合図、速度厳守などのステッカーなどの導入。 町職員は全員厳守することで町民に対してもその意思を普及させる。	ご意見ありがとうございます。 「多様な人材登用を可能にする支援機能構築事業(P5)」、「あんしん子育てサポートシステム構築事業(P8)」、「生涯活躍！未来人材育成プログラム構築事業(P10)」などを進める中で検討してまいります。 記名式アンケートにつきましては、ご意見の通りのメリットもありますが、一方で記名では提出を躊躇される方もいらっしゃると思いますので、慎重に取り進める必要があると考えます。 交通安全については、個々の法令遵守とともに、交通安全防犯境界や交通安全指導員、各種関係機関・団体と連携を図り、地道な活動・努力を継続させ交通安全対策の充実を図ってまいります。	環境未来 税務住民

通番	意見	回答	所管課
24	3. 自立・自律 の 打ち手案 山菜など森林の恵みを持続的に得るための注意点を周知する。周りに配る分まで過剰に採取したり、販売目的での採取には要注意。恵みを増やす工夫なども学んでいけるとよい。 個人レベルでのエネルギー自給を強力に推進。まきやペレットなど個人への燃料供給体制を手厚くし、気軽に安心して 利用できる環境を整備する。 倫理的消費については…各商業にも地産地消を意識したサービスを普及させる。 店舗では産地を明確に表示し、無添加・添加物をわかりやすく表示。既存商品でも地元産食材活用に切り替えるなどこだわりを持った商業を求めたい。 またフェアトレード商品の販売を推進してもらいたい。 (なるべく道内産を購入するようにしている、外国産はのぞましくない。外国産を使った下川の食品よりも、地元産をつかった下川や近隣市町村の食品を選んでいる) 考えが定着するまで、基準をクリアした商品・サービスの利用に対して助成もありでは。定着した段階で助成をやめる。 ダムに埋まってしまうエリアにも行者ニンニクなど貴重な山菜がたくさんあるのだけど(フクジュソウを移植する際にもいっぱいあった)それらの根っこを回収し、市街地付近の町有林、あるいは市街地の空き地を森林化して移植して増やすのもありかと。 増えるまでは採取せずに育てて、大量に増えたら減らないように気を付けながら利用してはどうでしょう。 さらに旧道道にはミズバショウがたくさんあり、サイクリングコースとしても好評でした。 今は通れないので移植技術があるのであれば、ダム湖に埋まる前に気軽にみられる場所へ移植すべきでは…。	ご意見ありがとうございます。 町有林内の山菜の採取につきましては、入林許可制度による管理を行っており、入林の際に注意喚起を行ってまいります。 「個人レベルでのエネルギー自給」については、「快適住まいづくり促進事業」において支援をしております。 「倫理的消費」につきましては、「ゼロエミッション(廃棄物を出さない)消費促進事業(P6)」や「地域経済循環を促すポイントシステム事業(P7)」など進めるとともに、販売等は地域事業者のお考えや取り組みが主となりますので、取り組みが促進されるような仕組みづくりを検討して参ります。 「山菜を移植し増産」について、このご意見に限らず、町の事業実施に当っては、まず行政の役割から実施すべきかどうか、行政の役割が有るとして、優先度、実現性、コスト、実施効果、地域の理解など様々な側面から検討を加え実行に移していくこととなりますので、ご理解願います。	税務住民 森林総合 環境未来

通番	意見	回答	所管課
26	5. 温故知新 ― 持続可能な打ち手案としての馬の活用 ― 心身の健康・移動・運搬・子育て教育・森林づくりへの馬活用馬（とくに北海道和種馬・ドサンコ）は、北海道に自生するほとんどの草を食べ、乗馬や馬車・そりによる移動や運搬（軽車両扱い）、農耕が可能。 生えすぎている草をエネルギーとして循環できる。馬糞は土壌改良にとっても優れている。馬はコミュニケーション能力が高い動物で、コミュニケーション能力をはぐくむことができるほか、精神的なケアにもなる。乗馬は全身の筋肉を使い、特に歩けない人にも歩いたことと同じように体を鍛えることができ、心や体の機能回復にも優れている。 （海外では心や体のリハビリなどで馬が活躍していますが、日本では残念ながらそういった医療は遅れています） ドサンコでは木材の運搬までは厳しいけどばんば馬なら林業にも活用できるし、昔の馬文化を取り戻すことで環境に良い森林づくりができると思います。（厚真町に実践者がいる） もう一度、人や馬、犬、命あるものの力を生かした暮らしを取り戻すことが、豊かな暮らしへとつながっていくと思います。	ご意見ありがとうございます。 町では、健康・移動・運搬・子育て教育・森林づくりに関する各種施策を展開しておりますが、馬の活用については、様々な施策との効果比較、費用対効果などから検討していく必要があり、現時点で町の施策として行う考えはなく、民間からの取組みの展開を期待しております。	環境未来
27	ループには 負のループも意識して共有していくことが重要かと思えます。	ご意見ありがとうございます。 ループ図は、立場や考えが異なる関係者が、ものごとのつながりを「見える化」し、話し合いをするためツールであり、今回の「ありたい姿」の策定に導入をしておりますが、今後もまちづくりの様々な局面で活用していくとともに、ループ図の作成方法などを学ぶ機会を設けてまいります。	環境未来
28	・2の「包摂」は言葉が難しすぎるので、誰もがわかりやすい言葉に変えてはいかがでしょうか。	ご意見ありがとうございます。 ご意見を踏まえまして、「(2)誰ひとり取り残されないまち」と修正しましたのでご理解願います。	環境未来

通番	意見	回答	所管課
29	3自立・自律の打ち手(案)の一つ目「小規模多品種農産物生産と循環型流通システム創出事業」はとてもいい案だと思います。町内産の農産物を町内で「いつでも」買える仕組みをぜひ整えていただきたいです。 また、できる限り近場で作られた安心安全な食べ物を買いたいというニーズは増えていると思います。町として、町内産・道内産の食材を使用・販売することを応援する仕組みができないでしょうか。	ご意見ありがとうございます。 現在、「しもかわ野菜マルシェ」を開催し、少しずつではありますが、下川産農産物を購入できる機会を作っています。 次の展開については、「小規模多品種農産物生産と循環型流通システム創出事業(P6)」を進める中で検討してまいります。	環境未来 農務
30	4安心の打ち手(案)の一つ目「生活支援の助け合い構築事業」の中に「病後児の保育など」が入っていますが、病後児の保育や一時保育環境の整備は必須だと思いますので、単独で打ち手としたほうが良いと思います。	ご意見ありがとうございます。 ご意見を踏まえまして、「あんしん子育てサポートシステム構築事業(P8)」と修正をしました。	環境未来
31	5温故起新の打ち手(案) 地域のおじいちゃんおばあちゃんの知恵や技術を次世代に伝えるワークショップを定期的(季節ごと)に開催します。下川で生きるための知恵を養うとともに、地域の文化を絶やさず繋いでいくことが大切です。普段関わり合いの少ない高齢者と若い世代の交流のきっかけにもなります。具体的には山菜やきのこの処理の仕方、漬物の漬け方、冬野菜の保存法、植木の冬囲い法など。	ご意見ありがとうございます。 「生涯活躍！未来人材育成プログラム構築事業(P10)」などを進める中で検討してまいります。	環境未来
32	7未来「子供たちが生き生き伸び伸びと成長するよう…」の打ち手に「下川まちなかバイオビレッジ」計画事業が入っているのは違和感があります。 また、子どもたちが生き生き伸び伸びと成長するは、2の包摂の内容と重複しているようにも感じます。	ご意見ありがとうございます。 まず、「下川まちなかバイオビレッジ計画事業」は名称を「中心市街地最適居住環境計画事業」に改めます。また、本事業は子ども達の育成環境を含め幅広く都市機能・居住環境を検討していくものであることから、「(4)みんなで思いやれる家族のようなまち」の打ち手に変更いたします。	環境未来

通番	意見	回答	所管課
33	6進化・深化は、クリーンな町をイメージできる言葉に変えたほうが良いように思います。	ご意見ありがとうございます。 「6.世界から目標とされるまち」に修正いたしました。 また、下川町が進めてきた取り組みを将来に向かって、より前に進める、より深めていくとの意味合いを「進化・深化」という言葉で表現し、町の中のことだけではなく、町の人々の暮らしを通じて影響を及ぼしている町外や世界とのつながりも意識し「脱炭素社会(パリ協定)」や「世界の持続可能な開発(SDGs)」の実現に寄与するまちをつくっていくこととしておりますので、ご理解願います。	環境未来
34	6進化・深化の打ち手(案) 自転車にやさしい町づくりを行う。環境を汚さない自転車は、町民の健康づくりにも役立ちます。自転車で走りやすい道の整備、町営の自転車屋さん、車に乗らない日(自転車デー)をつくり、自転車でお店へ行くとエコポイントがもらえるなど。	ご意見ありがとうございます。 地域交通に在り方、エコポイントについては「中心市街地最適居住環境計画事業(P8)」、「地域経済循環を促すポイントシステム事業(P7)」を進める中で検討してまいります。また、町営の自転車店については、民業での経営が優先であり、公共サービスの範囲を超えるものと考えております。 なお、昨年、協定を提携しました「名寄川地区かわまちづくり計画」におきまして、名寄川沿いの堤防等を活用したサイクリングロードの整備を予定しており、この取り組みや都市計画マスタープランの策定等と連携して取り組みを進めてまいりたいと思います。	建設水道 環境未来
35	その他 どこの項目に入れられるかわかりませんが、町内には空き家がたくさんあり、そのような家を住居やアトリエとして使いたい人も増えています。しかし持ち主の方の連絡先がわからないまま月日が流れ、手入れが遅れたために解体せざるを得ない家も多いと聞きます。空き家になったらず、町から持ち主の方に連絡し、売るもしくは貸す意思があるかどうかを確認する仕組みを作ることが大切です。移住者の住まいの選択肢を広げることもつながると思います。また、一軒の家を壊すと膨大な量のゴミが出るので、家を救うことは、ごみの大幅削減にも繋がります。	ご意見ありがとうございます。 「中心市街地最適居住環境計画事業(P8)」を進める中で検討してまいります。 今年度から総合的な空家対策に取り組んでおりますので、ご理解願います。	税務住民 建設水道 環境未来

通番	意見	回答	所管課
36	「1901年の開拓から約120年、本町の先人たちは豊かな自然資源を活かしてまちの基盤を築いてきました」 これはまったくその通りだと思いますが、さらなる先人であるアイヌの人々についてもぜひ言及してほしいと思います。豊かな自然資源が残されていたのも、アイヌの人々が持続可能な開発を実践してくれていたお蔭ではありませんか。	ご意見ありがとうございます。 文化財事業の中で、下川でのアイヌの人々の歴史や文化について取り組んでまいります。	教育委
37	P9 3.自立・自律 空き地や、利用が不可能な空き家を耕し、コミュニティガーデンとして活用、コンポストの設置をしてはどうでしょうか。 生きるために必要なものを自給し、人間にとって、環境にとって持続可能な暮らしを築く糸口となるように思います。 また、住民の交流やつながりを深める場、町の愛着が育まれる場となりうると考えます。	ご意見ありがとうございます。 「小規模多品種農産物生産事業(P6)」や「中心市街地最適居住環境計画事業(P8)」を進める中で検討してまいります。	環境未来 農務

通番	意見	回答	所管課
38	P11 4.安心 健やかな暮らしを継続し、医療費・介護費の増加を防ぐことが安心した暮らしに繋がるように思います。 そのためにも、年齢に関わらず予防に向けた取り組みが必要であると考えます。 多様な運動指導やエクササイズ、脳トレの提案、食育や栄養指導を行う、健康教室の開催や、定期的に心身の健康状態の測定を行う場を設けてはどうでしょうか。 また、アーユルヴェーダや漢方、リラクセーション法などの代替医療が導入されることによって、暮らしに寄り添いながら健康への意識が高まり、健康寿命の延伸と繋がると考えます。 食生活についても、地元産の野菜や山菜、乳製品、その他オーガニックのものなど購入できる場所を設けることが、心身的な安心を与えられると思います。	ご意見ありがとうございます。 健やかな暮らしを継続し、医療費・介護費の増加を抑制するため、今後とも母子から高齢者まで生活習慣を基本として健康意識を高め、健康寿命の延伸に繋がるよう取り組んでまいりたいと思います。 地元産食料については、「小規模多品種農産物生産と循環型流通システム創出事業(P6)」などを進める中で検討してまいります。	保健福祉 環境未来 農務
39	P13 7.未来 先人から受け継いだまちを、未来世代へと引き継ぐためにも、生きる力が育まれ、多様性の存在を認め合い、自身、そして他者を心から愛する喜びを味わうことができる環境が形成されることを願います。 森のようちえんのような場を設けることで、子どもから高齢者まで交わりながら、下川町の豊かな自然のなかでの体験を通して、楽しみながら学び、自然を存分に味わい、自然との共存を考える機会となると考えます。 そのような機会があることで、子育て環境も改善され、地域全体で未来世代のことを考え、育むまちづくりができるように思います。	ご意見ありがとうございます。 「生涯活躍！未来人材育成プログラム構築事業(P10)」などを進める中で検討してまいります。	環境未来

通番	意見	回答	所管課
40	「誰ひとり取り残されず、しなやかに強く、幸せに暮らせる持続可能なまち」の実現に向けて、誰もが理解できる計画が作成され、住民1人ひとりが「下川町のありたい姿」を思い浮かべて、日々の暮らしを大切に営むことができることを望みます。	ご意見ありがとうございます。 「ありたい姿」の普及に努めてまいります。またできるだけわかりやすい計画策定を心掛けてまいります。	環境未来
41	○オーガニック給食の実現を目指してほしい ○自然栽培に対する支援がほしい 石川県羽咋市の取り組みをぜひモデルにしてほしいです https://tabi-labo.com/240436/organic-lunch	ご意見ありがとうございます。 「小規模多品種農産物生産事業(P6)」などを進める中で検討してまいります。	環境未来
42	●「2. 包摂」について 『外国人労働者』との記述があるが、外国人を労働力としか受けて止めていないように感じます。「労働者」の文言の削除または、『将来的には外国人起業家の受け入れも視野に入れている』ことを明記した方が、多様性文化の醸成を体現していると思います。	ご意見ありがとうございます。 誤解を与える表現でありましたので、「外国人労働者」を「外国人」に改めます。	環境未来

通番	意見	回答	所管課
43	●「3. 自立・自律」について(エネルギーの地消地産) 『暖』については、下川町は木質バイオマスによる熱供給を他の自治体に先駆け実施している先進的な自治体と思います。 次は『冷』についても活用してほしいと思います。雪を活用した冷房システムや雪室(冷蔵倉庫)を新潟県が実施しています。ぜひ参考にしてほしいと思います。(参考資料添付します。) 雪室は温度変化が電気式の冷蔵庫に比べ少なく、また、湿度も高く、食品の保存には最適なシステムです。 また、雪による冷房システムを用いて、クラウドのデータセンターを作ることも可能かと思います。下川町は巨大地震の可能性が低く、データセンターを設置するには最適な場所になるかと思います。また、サンルダムの水力発電、今後木質バイオマスによる発電等を組み合わせることで、安定的に電力を供給できるシステムを完備できれば、他地域より優位な立場を得られると思います。	ご意見ありがとうございます。 ご指摘のとおり、雪氷冷熱は米などの保存や施設の冷房などに適していますが、費用対効果などの面から導入が見送られています。今後の技術革新等を調査しながら導入を検討したいと思います。 また、町内で発電することができれば、災害にも対応が可能と思います。	森林総合環境未来
44	●「3. 自立・自律」について(地域中小企業成長・起業促進) ワークシェアリング、ジョブシェアリング、複業の推進、定年の廃止等の自由な働き方の促進を図ってほしいと思います。 企業成長および起業において、障害になるのは、労働力不足と資金不足です。 下川町は人口減少に伴い、労働人口の減少にも拍車がかかることが予測されます。これは下川町だけでなく、都市部でも例外なく発生する問題です。今後は、周辺自治体とも人の取り合いが発生することも予測されます。 そのような状況下で、一つの企業が労働力を囲い込むのではなく、従業員をシェアできる仕組み、従業員の勤務時間をシェアできる仕組みを作ったり、働く側の人々が、自由に仕事を、勤務時間を組み立てることができる仕組み、そして、それらの自由な労働を支える仕組みを他の自治体に先駆けて作ることが、未来の下川町のありたい姿を作る上で必要だと思います。 自由な働き方は、移住者にとって重要な選択基準になると思います。都市部と同じ働き方を強要しては、労働人口の増加は難しいと思います。都市部と働き方の差別化を図ることで、移住者の増加にもつながると思います。	ご意見ありがとうございます。 「多様な人材登用を可能にする支援機能構築事業(P5)」などを進める中で検討してまいります。民間事業者については、労働政策の中で検討してゆくとともに、労働条件などは事業者の考えによりますので、地域における取組みも期待します。	環境未来

通番	意見	回答	所管課
45	地産地消ができるようになると良いです。それに関連して有機農業に対し、町全体として力を入れられるようになったらいいと思います。 今は有機肥料を本州から送料をかけて仕入れており、いずれは自分たちで作りたと思っていますが、設備などなかなか難しいところがあります。 しいたけ工場の菌床などを活用して下川町産の有機肥料なんかがあって、みんながそれで家庭菜園などをしたり、農家さんも有機農業に少しずつシフトしていったら下川町産の野菜がオーガニックになったりしたら、持続可能な農業になるし、皆の健康にも役立って夢のようだと思います。	ご意見ありがとうございます。 現在、「しもかわ野菜マルシェ」を開催し、少しずつではありますが、下川産農産物を購入できる機会を作っています。 次の展開については、「小規模多品種農産物生産と循環型流通システム創出事業(P6)」などを進める中で検討してまいります。	環境未来農務
46	【1. 挑戦】 ・一番先頭にあるにもかかわらず「挑戦」に打ち手がひとつも無いので、追加する。例えば、現在産業活性化支援機構の取り組んでいるローカルベンチャーの事業など。	ご意見ありがとうございます。 打ち手は、新規また既存事業を改正する事業を中心に掲載しており、掲載している事業以外にも、既に数多くの事業を実施していますが、これらも含めて「ありたい姿」の実現に向け取組みを進めていくこととなります。よって、ご意見にあるローカルベンチャー事業は既に実施している事業のため掲載をしておりますが、ご意見を踏まえまして、「町民主体によるSDGs課題解決事業」、「下川町総合計画審議会のSDGs未来都市部会の設置」を追加しました。	環境未来
47	【2. 包摂】 ・外国人労働者の受け入れ拡充を図るために必要な支援機能を検討」は、産業振興策であり、「包摂」にはそぐわないかと思います。例えば、「外国人も安心して住み、暮らすことのできる支援機能」として、外国人(労働者とは限らず)への支援ということを明確にすべきかと思います。マイノリティーの方を取り残さない、ということが明確に謳われる部分であってほしいと思います。	ご意見ありがとうございます。 まず、「外国人労働者」の表現について、誤解を与える表現でありましたので、「外国人労働者」を「外国人」に改めます。 「多様な人材登用を可能にする支援機能構築事業(P5)」は、女性・高齢者・障がい者・障がい者・外国人など多様な人々が活躍できる社会づくりを目的とするものであることから、「(2)誰ひとり取り残されないまち」の打ち手としております。	環境未来

通番	意見	回答	所管課
48	【3. 自立・自律】 ・打ち手に、様々な外貨の資金調達策を検討することをテーマにした項目を追加。 例) ■資金調達手法の開発 ・ふるさと納税、仮想通貨、ガバメントクラウドファンディング、ESG投資など、既存手法の改善だけでなく、新たな資金調達手法を研究・実証します。 ・お金の漏れを調査し、住民と共有し、取り組み化につなげることをテーマにした項目を追加。 例) ■しもかわブループリント作成・作成事業 ・下川の地域において、産業および家計で、どこに「資金の漏れ」があるのかを調査し、わかりやすく住民と共有する。「漏れ」を防ぐ取り組みの立ち上げ・進化には、集中的に支援を行う。 ・「ゼロエミッション」と「エシカル消費」は、別の項目にした方が良いかと思います。生産工程の見直しやリサイクルの徹底によって廃棄物をゼロにする「ゼロエミッション」の実現は、主に生産者側への働きかけ。人体・環境への負荷に加え人権などに対して配慮された製品の消費を促す「エシカル消費」は、どちらかといえば消費者への働きかけであり、アプローチの方法が異なるためです。	ご意見ありがとうございます。 新たな資金調達手法及びお金の流れの調査と共有、事業化については、「SDGsパートナーシップによる良質な暮らし創造実践事業(P9)」などを進める中で検討してまいります。 事業の項目としては「ゼロエミッション」とし、廃棄物を出さない消費の取り組みを進めるうえでエシカル思考の浸透を深めてまいります。	税務住民
49	4. 安心】 ・住民自治の推進をテーマにした項目を追加。 例) ■住民主体のまちづくり事業 住民みずからが地域の意見を吸い上げ、地域の暮らしを守り、その結果、地域住民が安心して暮らすことできるように、地域に必要な活動の予算を地域住民自らがその配分を決め、動くことのできるしくみづくりに取り組む。	ご意見ありがとうございます。 ご意見を踏まえまして、「(1)みんなで挑戦しつづけるまち」の打ち手に「町民主体によるSDGs課題解決推進事業(P4)」を追加しました。	環境未来

通番	意見	回答	所管課
50	【7. 未来】 ・「未来」のテーマらしく、子どもや子育て世代に特化した項目を追加。 例) ■学校外教育クーポン発行事業 家庭環境によって子どもたちの可能性が決して狭められないように、経済的に困難な家庭の子どもたちを対象に、事前に登録された学校外での塾、習い事、体験活動に使うことのできる教育クーポンを発行する。 例) ■託児マッチングサービス事業 託児したいママと、預かることのできる方の、マッチングサービス。場所と仕組みを提供し、住民による運営。	ご意見ありがとうございます。 ご意見を踏まえまして、「(4)みんなで思いやれる家族のようなまち」の打ち手に「あんしん子育てサポートシステム構築事業(P8)」を追加しました。 また、学校外教育クーポン券については、アンケート調査の結果などにより導入の検討をしてきましたが、利用ニーズが無いと判断し、現在のところ制度導入は考えておりません。	教育委 環境未来

通番	意見	回答	所管課
51	2030年における下川町のありたい姿(案)を読んでみて、率直な感想としましては、よくわからない、でした。12年後というそこそ近い未来の具体的なイメージがなかなかできませんでした。 ありたい姿として7つの項目が提案されており、「本当にどうありたいか」を描いた理想的な姿とのことで、本当に理想的なことが書いてあると思いますが、とても幅の広い理想なので、事業(打ち手)案が挙げられていないものなどは、町としてどのような考えでこの理想を掲げたのか疑問に思いました。 また、打ち手が多いものと一つもないものがありましたが、打ち手は理想とする7つの目標のどれか一つに対するものではなく、もっと横断的なものになるのではないのでしょうか。 具体的な施策を考える際に、ありたい姿の項目に当てはめて考えるのだけではなく、必要とされる施策を実践していくにあたって、ありたい姿の7つの項目が実現される形で実践していくようにするのではないかと思います。 例えば、「ばくりっこ」という素敵な取り組みがありますが、今は物のばくりっこだけではなく、将来的には、助け合いのばくりっこ、労働力のばくりっこ、子守のばくりっこ、家庭菜園の野菜のばくりっこなど暮らしに必要とされる様々なことを提供しあい人が集う場所となり、お金の代わりにしもりんポイントのような地域通貨でやり取りをするようにすれば、人手不足や子育て、コミュニティ形成、地域内循環などの問題の解決に結びつくと思います。この取り組みには、ありたい姿の2包摂、3自立・自律、4安心、7未来そして挑戦的な取り組みであるということで1の挑戦も含まれることになると思います。 限られた時間と人員の中で目標を実現していくためには、一つの事業の中で複数の効果を上げていくことが必要だと思います。 そのような視点で、ありたい姿と事業(打ち手)案を整理し直すとうかがいやすくなるように思いました。 ありたい姿(案)自体は本当に理想だと思いました。その理想が絵に描いたもちにならないために、どのように実現していくのか、その計画がイメージできるといいと思いました。	ご意見ありがとうございます。 まず、打ち手の設定についてですが、「ありたい姿」の実現には既に取り組んでいる事業を含め様々な取り組みを進めていく必要があります。一方、町が実施する全ての事業(打ち手)を掲載してしまうと返ってわかりずらくなってしまふことから、今回、打ち手として掲載した事業は、新たに取り組もうとするものや既存事業で改正をするものに限って掲載をしており、今後、町の計画(総合計画・SDGs未来都市計画など)を策定する中で、「ありたい姿」と既に実施している事業との関連付けを行い、お示ししてまいります。 また、ご意見の通り、1つの打ち手(事業)が複数の「ありたい姿」の項目に効果を与えることが望ましく、計画策定(総合計画・SDGs未来都市計画など)においてはさらに深く打ち手(事業)を検討し整理をしていきますので、できるだけわかりやすくお示ししてまいります。	総務 環境未来

通番	意見	回答	所管課
52	(1) 挑戦 「下川らしさ」を引き継ぐ……ともすると「デジタル化」されぬよう「ハート」の「香り」も残しつつ進む場面もあってほしい。そして「包摂」にも関連しますが挑戦する人、地道に努力している人を、そっと背中を押す行動力が必要ではと感じます。	ご意見ありがとうございます。 ありがたい姿の議論に当っては、下川町がこれまで築いた歴史の中で育まれたきた危機や困難に挑戦をするや、多様な人々を受け入れる寛容性などを受け継ぎ、未来世代へ引き継ぐことが重視され、ありがたい姿「(1) みんなで挑戦しつづけるまち」にそうした「下川らしさ」を体現していくことが位置付けられています。 また、挑戦する人、努力している人の背中をそっと押す行動力については、「ありがたい姿」の実現を進める中で、地域全体でそうした気運を醸成していきたいと考えます。	環境未来
53	(2) 包摂 森林環境教育は、下川町特質されるものですが、川下の「木」の良さや、使い方にも力を注いで欲しい。高齢化する中で、高齢の女性が多くなる予想が出ております。素敵なおばあちゃん、出番ですよ！ 老人クラブでの教育プログラムではなく、個々の文化的(書道、華道、ヨガ、ガーデニング、お料理、SMS、スマホ、メール、カメラ等々、)孫や若い主婦との交流も含め「自分磨き」のカリキュラムも必要だと思います。 ・健康省エネ住宅 に付いては、集中暖房は、乾燥と、温度設定が高めになるので加湿、外気との温度差による、自律神経失調に、ご注意を！！	ご意見ありがとうございます。 木の良さや使い方について、森林環境教育などを引き続き進めていくとともに、下川町ふるさと開発振興公社が実施する「森とイエプロジェクト」とも連携し普及啓発を進めてまいります。 高齢者の活躍の場については、「多様な人材登用を可能にする支援機能構築事業(P5)」や「生涯活躍！未来人材育成プログラム構築事業(P19)」などを進める中で検討してまいります。	環境未来 森林総合 保健福祉

通番	意見	回答	所管課
54	(3) 自立、自律 「小規模多品種の農産物を自動販売機で販売する。」生産者のこだわりや、新しい野菜の利用方法は、自販機で販売できる物では無いような気がします。その野菜が有名になり、メジャーになったときは、ディスプレイ付自販機も良いと思います。 「挑戦」で述べた「デジタル化」だと思います。但しすごく良い自販機が出来たときはその方が、便利な事は間違いありません。美味しいパンは、近隣から買いにきてます。 朝10時に下川を発てば、翌日関東圏配達可能です。時間勝負の野菜は、大都会をターゲットにすべき。それには「下川」のイメージアップが優先かと思います。 ・脱炭素社会構築事業 「省エネ改修」でしょう！ 資源は無尽蔵と思わない方が良いでしょう。苗木を育てる、木を植える、育てる、間伐する、主伐する・・・循環がどこかで途絶えたら、価格は上昇すると、採算が取れなく成ります。 カーボンニュートラルでも、CO2は排出されてます。20年間は「バーク」が有りそうです。 ・林業の川上から川下までのシームレス産業化 ・地域中小企業成長・起業促進 ・生産効率向上に向けた先端技術導入実証事業 下川町の産業の中心である林業、林産業の、将来設計は、非常に難しい問題です。2030年の姿を描くのには、若干の時間が必要だと思います。 米中貿易戦争、世界の製材消費大国の中国、北欧産製材の流れ、日本国内の住宅着工戸数の動向、内に目を向けると、業界全般の人手不足、製材機械の老朽化バイオマス発電工場の稼働による原料流通の変化、国有林の経営方針、北海道内の原料の不足は、非常に深刻な問題です。 なにを「北極星」にしてどう進むか、システム図を描き解決して行きたいと、考えております。よろしくお願いいたします。	ご意見ありがとうございます。 野菜の販売について、自販機は一つの手段として想定されるもので、販売方法などはニーズ、流通システム、コストなどから検討してまいります。 また、「小規模多品種農産物生産と循環型流通システム創出事業(P6)」は、住民ニーズの中で地元産のものを食べたいという声が多く、基本的には自給を目的とするものですが、事業を検討する中で域外への外販も想定されます。 また、平成30年度には「ありがたい姿」を実現するための計画策定(総合計画など)を行っていく予定ですので、その中で林業・林産業など分野ごとの政策立案を進めてまいります。	環境未来 森林総合 農務

通番	意見	回答	所管課
56	温故起新 温故創新 故きを温ねて下さい。下川の歴史の生き字引の大先輩はもう残り少ないですよ。木材関係では ●●さん、●●さん ●●さん 営林署では ●●さん 運送では ●●さん ●●さん 商店街では ●●さん ●●さん、役場 ●●さん ●●さん ご婦人では ●●さん ●●さん、農家は判りません。 ※原文では個人名のため個人情報保護の観点から「●●」と表記しております。	ご意見ありがとうございます。 「生涯活躍！未来人材育成プログラム構築事業(P10)」では、地域の文化や産業を学ぶことも想定しており、本事業を進める中で検討してまいります。	環境未来
57	7未来 ・ 意見を聞く機会を増やして欲しい。意見を述べる→参加した大勢の意見があれば、もっと楽しくなる。 ・ 世界の変化スピードにどう付いてゆくか？ どう北極星を見つけるか？早く決めて小回りをきかせ、進む事が大切だと思う。先に走らせて、2番手で体力を温存して進む事も、戦術かもしれませんが、2番手は2番手。 only one であるべきです。下川町は「小さな蝶の羽ばたきで、世界に嵐を起こせる街です。」素晴らしい先生も、一緒に走ってくれてます。自信を持って胸を張って、お進み下さい。お爺ちゃんは後ろの方で「がんばれ～～」とエールを送る事しか出来ませんが、皆様の頑張っている事を、ちょっとだけ話す事が出来るのが、大変嬉しいです。 もう27日になりますので、筆を置きます。 委員各位、職員各位の奮闘努力で、大きな花が咲く事を、期待申し上げます。 枝廣先生のお話を、町民皆で聞く機会があればよいな～と思ってます。	ご意見ありがとうございます。 平成30年度には「ありたい姿」を実現するための計画策定(総合計画・SDGs未来都市計画など)を行っていく予定ですので、その中でご意見をいただく機会を設けてまいりたいと考えます。 ご意見の通り世界の変化スピードは増しておりますが、当町の伝統的特性として、スピード感や先見性が挙げられ、それを失うことなく、下川町の優位性を最大に高めていくよう活動を進めてまいります。 また、「ありたい姿」の実現に向け、より一層励んでまいりますので、今後とも引き続きご協力をお願いいたします。	総務 環境未来

通番	意見	回答	所管課
59	『「誰ひとり取り残されず、しなやかに強く、幸せに暮らせる持続可能なまち」を実現する』という考えに賛同します。 幸せな暮らしと考えて思い浮かぶのは、子どもを膝に乗せて絵本を読み聞かせたり、友人と酒を酌み交わしたり。とても個人的なようですが、昔から変わらず営まれてきたそんな普遍的な幸せこそが持続可能な幸せな社会だと感じます。幸せは個人や家庭、近い人間関係から。その広がりが社会の幸せにつながるんだと思います。もちろん、そんな幸せの代償として、環境負荷や搾取がないよう十分な配慮が必要です。 まず、上記の個人的、普遍的な幸せを実現するために、ワークライフバランスの実現が必要です。打ち手案の4か7に加えてはいかがでしょうか。まずは役場が率先して時間外労働の削減に取り組んだうえ、民間の事業所にも働きかけてはどうでしょう。子育てや、暮らしの中での助け合いをし、下川ライフを楽しむには、時間が必要です。	ご意見ありがとうございます。 近年、国の制度改正、地方分権の進展、行政ニーズの複雑化・多様化、地域活性化の観点などから社会情勢や地域ニーズに迅速かつ適切に対応することができる役場の体制づくりが急務な状況です。そのため、第8次行政改革大綱において、業務の効率化に取り組むこととしており、同時にワークライフバランスの実現に寄与してまいりたいと考えております。 民間事業者については、労働政策の中で検討してゆくとともに、労働条件などは事業者の考えによりますので、地域における取組みも期待します。	総務 環境未来
60	3. 自立、自律の中の、特にエネルギーについて、創出に主眼が置かれていますが、省エネについての打ち手も必要だと思います。まずはエネルギーの消費を削減したうえで、必要なエネルギー量を見積もって、バイオマスなどの再生可能エネルギーを大切に使うということが必要だと思います。 また関連して、車に使う石油は自給できないので、消費を抑える方策が必要です。公共交通の利便性向上や、自転車の利用促進をすることで、交通部門のエネルギー消費を抑えるとともに、排気ガスのないきれいな空気や、徒歩、自転車で行きかう人の増加による市街地のにぎわいにもつながります。 (公共交通や自転車の打ち手は、4に入れてもいいかもしれません)	ご意見ありがとうございます。 省エネについては、これまで同様に「しもりんポイント」(環境活動に対するポイント付与)を継続するほか、新たな事業として「省エネ家電レンタルシステム構築事業(P6)」を追加しました。「健康省エネ住宅の主流化事業(P5)」などと併せて、省エネ化を進めてまいります。 高齢化の進展と介護度があがることが予想され、地域交通のあり方は大変重要な課題となります。今後、「中心市街地最適居住環境計画事業(P8)」、「地域経済循環を促すポイントシステム事業(P7)」を進める中で検討してまいります。	環境未来 税務住民
61	エシカルな消費促進について、町内の小売店では洗剤や食品、衣類など、エシカルな日用品の選択肢が少ないという問題があります。地域でお金を循環させるということは重要なことです。地域にエシカルな選択肢が増えるような方策も打ちたいところです。	ご意見ありがとうございます。 エシカル思考に基づく商品の選択と消費が促されるよう、消費者や事業者への普及啓発活動を進めてまいります。	税務住民

通番	意見	回答	所管課
62	その他、どの項目にも当てはまりませんが、個人的には景観が美しい町に住みたいです。近年の公共施設(フレペ、コモレビ、町営住宅など)は美しいと思いますが、特に個人住宅の街並みは美しくありません。東川町のように個人住宅にデザインコードを設けるのは、下川ではやり過ぎのような気がしますし、具体的な打ち手は思いつきませんが、緩やかな統一感のある街並みになったらいいと思います。経済の地域循環という意味でも町内工務店で新築、改修する人が増えて欲しいですし、各工務店は選ばれる下川らしいデザインの提案力が欲しいです。(森とイエの活動がもっと広がるといいと思います。)	ご意見ありがとうございます。 下川町ふるさと開発振興公社クラスター推進部が進める「森とイエプロジェクト」と連携し本町らしい住まいづくりを進めるとともに、「快適住まいづくり促進事業」において、地域産材の利用や地元工務店での施工を促進してまいります。 また、統一感のある街並みについては、都市計画マスタープラン策定作業の中でも下川らしい景観の形成等が話題になっていることから、都市計画マスタープラン策定の中で検討してまいります。	環境未来 建設水道
63	(1)挑戦(2)包摂 札幌市や渋谷区のように、LGBTに寛容な条例を作るのはどうでしょうか？人口増にもつながると思います。議論することが当事者にもそうでない人にも豊かな人生観をもたらすと思います。 家族の形も、色々あるのがいいと思います。	ご意見ありがとうございます。 本町においてLGBT(※)に関する議論はまだ深まっておりませんが、今後の総合計画審議会等における議論を踏まえ、必要に応じて検討してまいります。	保健福祉
64	(3)自立・自律 「食料、木材、エネルギーの地産地消」素敵です。特にエネルギー。原発に頼らない。 ついでに。新しい牧場もできるし、牛乳も地産地消できるといいな。	ご意見ありがとうございます。 食料、木材、エネルギーなど自ら消費するものを自ら産み出すこと(地消地産)が増えていくよう総合計画等において検討してまいります。	農務
65	(4)安心 前の項目のエネルギーに関連して。実は3月19日(月)の北海道新聞朝刊で、「美瑛町議会が原発の核のごみを受け入れないとする条例を可決した」という旨の記事を見て、そんな条例が作れるのかと驚きました。「規制条例」ではなく「宣言条例」というのだそうですが。 下川もやりましょう！ あと、「今後もし憲法が変わっても、戦争はしない！死なせない！殺させない！」という宣言条例も、作ってほしいです！議論することが大事。	ご意見ありがとうございます。 エネルギーや戦争も含めた町民の皆様の安心につながる方法について、今後の総合計画審議会等における議論を踏まえ、必要に応じて検討してまいります。	環境未来

通番	意見	回答	所管課
66	(7)教育 町にはすでに外国人労働者がいるとのこと。ならば年に一度でもいいので、たとえば小学校で、ALTによる「外国語」の時間にゲストティーチャーとして来てもらい、英語だけではなく言語や文化を紹介してもらおうというのはどうでしょう。	ご意見ありがとうございます。 外国人労働者は主に農家や各事業者において繁忙期の限られた期間に研修等の目的で就労していると認識しております。 町として外国人労働者に入国目的以外の活動を依頼することは困難ですが、外国人労働者が滞在中に就労に支障のない範囲で自主的に活動されることは歓迎いたします。	教育委 農務
67	2.「包摂」の意味が分かりにくいです。 「だれもとりのこさない」など、わかりやすい言葉の方がよいのでは？	ご意見を踏まえまして、「(2)誰ひとり取り残されないまち」と修正しましたのでご理解願います。	環境未来
68	3. と4. に関連しますが、打ち手として、交通弱者の移動手段の方策があるといいと思います。 具体的には公共交通の充実、(乗り継ぎ改善など)や自転車レーンのペイントにより利用を促すなど。 石油は自給できないので、消費を制御することが大切です。バイオマスでも省エネの観点が必要です。また移動の手段確保は住み続けられる町として重要です。	ご意見ありがとうございます。 本町では乗り合いタクシーやコミュニティバスの運営等で交通の利便性向上を図ってまいりました。引き続き、利便性の向上に向けて改善策を検討してまいります。 また、自転車レーンについては、町道の幅員や形状等を十分考慮し、検討してまいります。	税務住民 建設水道
69	街の景観として、下川は美しくない。特に住宅はちぐはぐな感じがあり、一定のデザインがあってもいいのかなと思います。	ご意見ありがとうございます。 本町において景観の議論は深まっておりますが、今後の総合計画審議会等における議論を踏まえ、必要に応じて検討してまいります。 なお、都市計画マスタープラン策定作業の中では下川らしい景観の形成等が話題になっていることから、都市計画マスタープラン策定の中でも検討してまいります。	建設水道
70	7. 子どもは社会の宝として、社会で育てる仕組みがあるいいと思います。高齢者と子どもの交流や、親の用事があるときに、それぞれの親同士で子どもを見る仕組みなど。	ご意見ありがとうございます。 子どもの一時預かりについては、「あんしん子育てサポートシステム構築事業(P8)」「(生活支援の助け合い構築事業を修正変更)」において検討してまいります。 また、町民相互の交流の仕組みについては、「みんなで考えみんなでつくる環境未来都市推進町民事業」などを活用して町民主体で最適な仕組みが検討されることを期待します。	保健福祉

通番	意見	回答	所管課
71	1. 「下川らしさ」が私も大好きです。時代や人が変わると暮らしが変化することもあります。先人たちが厳しい時代を経て築いてくれたことは引き継いでいきたいと思っていますので同感です。身近に町の歴史を学ぶ機会があると、子どもたちや移住者とも共有できるのではないのでしょうか。	ご意見ありがとうございます。 本町には「ふるさと交流館」や「札天山収蔵館」のような身近に町の歴史を学べる施設がありますので、今後もこれらの利用促進を図ってまいります。 また、「生涯活躍！未来人材育成プログラム構築事業(P10)」では、地域の文化や産業を学ぶことも想定しており、本事業を進める中で検討してまいります。	教育委 環境未来
72	3. 水も森林も、人間は作ることができません。自ら消費するものでも自ら産み出せないものですから表現に違和感があります。 ・再生可能エネルギーも大切に利用したいと考えます。 (森林バイオマス利用でも暖房は適温で。幼児センターが暑いのは何故？) ・一の橋の事業はここにあげなくても良いのでは。 ・食べ残しを減らす工夫もしたい。(廃棄物) ・廃棄ガスを出さない工夫、自転車、公共交通を増やしたい ・水資源... 合成洗剤の使用を抑える取り組みをしたい	ご意見ありがとうございます。 ご意見を踏まえまして、「(3)人も資源もお金も循環・持続するまち(3. 自立・自律を修正)」として、この意味合いをP5説明書きに記載しました。 とりわけ、自然資源(森林・水)の循環・持続は、循環型森林経営や河川、水源地の保全などにより、自然と人が共生し続けられることを意味します。 「一の橋バイオビレッジ脱炭素コミュニティモデル事業(P6)」については、集落のエネルギー自給を高めると同時にその運営により集落経済力を高めることを目的としているので、ここに位置付けています。 「食べ残しを減らす工夫」につきましては、国内における食品ロスの現状と削減に向けた取り組みの普及啓発の促進に努めてまいります。 「廃棄ガスを出さない工夫、自転車、公共交通を増やしたい」につきましては、「地域経済循環を促すポイントシステム事業(P7)」を進める中で検討してまいります。 水資源について、今後、世界の人口規模が拡大する中、水資源の大切さは再認識されていくものと考え、特に穀物類の輸入に大きな影響を与えるものと思われます。水資源に恵まれる下川町においては、優位性を発揮させることを検討すると共に出来るだけ水を汚さない、大切にするような取り組みも必要であると認識し、ダムの完成時に合わせた普及促進を検討してまいります。	環境未来 税務住民

通番	意見	回答	所管課
73	4. 子どもの一時的に預けるところが整備されるとよいと思います。現在の一時預かり制度では、ニーズと見合っていないこともあります。 ・公共交通の整備も暮らしの安心につながりますが年々減っていくバスの便など、将来を考えると不安です。	ご意見ありがとうございます。 子どもの一時預かりについては、「あんしん子育てサポートシステム構築事業(P8)」「生活支援の助け合い構築事業を修正変更)において検討してまいります。 また地域の足となる路線バスは大変重要であり、今後も利便性の確保と利用の促進に向け、努力して参ります。更に交通不安の解消に向けた取り組みを検討して参ります。	環境未来 税務住民
74	7. 現世代のことだけでなく未来の町民のことも考えるまちという考えは素晴らしいと思います。そこに”産まれてくる子供や移住者”という言葉は不要では。くどい 未来のこと、子どもたちのことの項目に「バイオビレッジ事業」は違和感があります。 子どもたちが健全な心身を育むために健康づくりや環境整備の事業案があるとよいです。	ご意見ありがとうございます。 「将来産まれてくる子供やこれからの移住者など」については、「未来の町民」の例示として、より多くの方に理解を深めていただくため記載しております。ご理解いただきますようお願いいたします。 子どもたちの健康づくりや環境整備については、下川町子ども・子育て支援事業計画及び下川町保健計画に基づき、引き続き取り組んでまいります。	保健福祉
75	幼児の子どもを育てています。下川には、児童室が整備され快適に利用させてもらっていますが、実際のところ小学生が利用する時間帯(だいたい午後2時半頃～)は利用を避けざるを得ない状況です。(異年齢の遊びの大切と考えますが、限られた空間では衝突などを避けるため、また宿題をする子の邪魔にならないよう、乳幼児は利用を自主的に遠慮しています。) ひとときたりともじっとしていないような子どものを雨の日や、吹雪などにも思い切り体を動かせるような場所があれば、親が子どもに対する気持ちも穏やかに保てることにもなるでしょうし《目標16》、家にこもってゲーム漬けになることを避けられる《目標3》ことにもなるかと思います。 例えば、既存の体育館でトランポリンやボール、縄跳び、跳び箱などでも良いと思います《目標11》。 また、下川は公園もたくさんあって整備もされており、よく利用しますが、小さい子用の遊具の種類が偏っていることが気になります。(“おうち”ばかり)あそびの中で体を鍛えられるような遊具や道具、丘(段ボールすべりやそりすべりなどができるような斜度)があれば、子どもの健康づくりにもっと役立つと思います。	ご意見ありがとうございます。 児童室の利用について、就学前児童については保護者同伴のうえ利用していただいております。児童クラブにおいて小学生が利用する時間帯は込み合っている状況ですが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。 子どもが屋内で体を動かせる場所について、また、町内には各種体育施設がありますので、ご利用いただければと思います。備品として不足しているものなどは教育委員会にご相談いただければ検討いたします。 公園の遊具等については、今年の3月に実施しました都市計画マスタープランの策定に係るアンケート調査の中でも要望があったことから、どこの公園にどのような遊具を設置したら良いのか、優先順位等を考慮しながら設置の検討を進めてまいります。	教育委 保健福祉 建設水道

通番	意見	回答	所管課
76	子どもたちが健全な心身を育むため《目標3》に、スポーツはよいことだと思っています。下川は、スキー、水泳の環境が整っていてありがたいと感じていますが、子ども(幼児)に教えたいけど自分では教えない(・自分ができない・下の子が小さくて一緒にできない ※父親が休みの日は父親と行くことができますがもっと行きたい)ため、何か良い方法があればいいと思っています。 小学生向けの教室は、下川町教育委員会で行ってくれていますが、幼児のうちに基礎的なことを身に着けることで、小学校入学後にスムーズに授業に馴染め、スポーツの楽しみを感じられるようになって欲しい、そしてそれを健康づくりに役立ててくれたらと考えています。	ご意見ありがとうございます。 就学前の子どもに対するスポーツや運動について、団体や少年団で実施しているものや幼児センターのカリキュラムで年齢に応じた体を動かす活動を実施しています。それ以外のスポーツ活動は指導できる人の確保など課題が多い状況にあり、ご理解願います。	教育委
77	・病院に行く時、幼児センターの一時預かりをお願いしていますが人が足りないようで、こちらも預けるのが申し訳ない気持ちになります。気兼ねせず預けられる環境になるとうれしいです。	ご意見ありがとうございます。 幼児センターの保育士については、福祉・医療環境コーディネーター事業としてHPや採用フェア等で積極的な募集活動を実施しておりますが、十分な確保に至っておらず、ご迷惑をおかけして申し訳ございません。引き続き早急な確保に努めてまいります。	保健福祉
78	・美容室へ行く時などは、●●先生に託児をお願いしていますが昨年、先生がいらっしゃらない時はとても困りました。もう少し預かりをしていただける場所があるといいです。 ※原文では個人名のため個人情報保護の観点から「●●」と表記しております。	ご意見ありがとうございます。 子どもの一時預かりについては、「あんしん子育てサポートシステム構築事業(P8)」(生活支援の助け合い構築事業を修正変更)において検討してまいります。	保健福祉 環境未来
79	・夏の間、色々な公園を利用していますが、冬に体を動かして遊べる場所がありません。児童クラブ室をもっと利用できたらと思うのですが、小学生に気を使うので利用をためらってしまいます。	ご意見ありがとうございます。 児童室の利用について、就学前児童については保護者同伴のうえ利用していただいております。児童クラブにおいて小学生が利用する時間帯は込み合っている状況ですが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。 子どもが屋内で体を動かせる場所について、開館時間等の制約もありますが、スポーツセンターなど社会体育施設がありますので、お気軽にご利用ください。	教育委

通番	意見	回答	所管課
80	今回、このコメント用紙をダウンロードして手に入れられる環境がなく困りました。例えばコモレビや図書館に町民がネット利用できたり、印刷できる(お金を払って)ような場所があると嬉しいです。	ご意見ありがとうございます。 現在、町内の公共施設では、公民館、図書館、コモレビで無料でインターネット利用が可能となっています。ご利用方法はお気軽に施設スタッフまでお訪ねください。 なお、印刷環境の提供については有料であっても公共サービスの範囲を超えるものと考えております。	教育委
81	・子どもの医療費は無料じゃなくても良い。もっと違うところで、お金を使っては？！	ご意見ありがとうございます。 子どもの医療費無料化については、中学校までの医療費を無料化することで子育て世代の負担軽減になり子育て支援に繋がるものと考えておりますので、ご理解願います。	保健福祉
82	・幼児センター「あそびの広場(ぴよぴよ、きらきら)」児童クラブ室などにたくさんボランティアの方などが遊びに来てくれると、子ども達も喜ぶと思う。(今もボランティアの方々はいると思いますが、もう少し呼び掛けしてもいいと思います) 年配者の方も子ども達と遊ぶと元気をもらえるのでは？(小さい町だからこそ人とのつながりを大切に)	ご意見ありがとうございます。 幼児センターや児童クラブにおいてボランティア参加が増えるよう周知してまいります。 また、「生涯活躍！未来人材育成プログラム構築事業(P10)」において、さまざまな世代が町内で活躍できるよう検討してまいります。	保健福祉 教育委
83	・調べものをしたり、プリントアウトしたりできる場所が町内にあれば利用したいです。(ネット環境が整っていないので)	ご意見ありがとうございます。 現在、町内の公共施設では、公民館、図書館、コモレビで無料でインターネット利用が可能となっています。ご利用方法はお気軽に施設スタッフまでお訪ねください。 なお、印刷環境の提供については有料であっても公共サービスの範囲を超えるものと考えております。	環境未来
84	・FAXを送れる場所もほしいです。	ご意見ありがとうございます。 FAXについては有料であっても公共サービスの範囲を超えるものと考えております。	環境未来

通番	意見	回答	所管課
85	・私事で気軽に子を預けられる場所がほしいです。	ご意見ありがとうございます。 子どもの一時預かりについては、「あんしん子育てサポートシステム構築事業(P8)」「生活支援の助け合い構築事業を修正変更)において検討してまいります。	環境未来
86	・働き始めたら、病児保育ができる場所があると働きやすいです。	ご意見ありがとうございます。 「病児病後児保育」については、施設整備や人員配置等運営基準など、調査研究を進めながら、対策方法等の検討をしてまいります。	保健福祉
87	・新聞を取っていないので、町のチラシやイベントの情報が少なく困っています。IP電話で知ることができたら助かります。	ご意見ありがとうございます。 IP電話は、「行政情報告知端末機」として、防災・行政等に関する情報の提供を行うもので、営利を目的としたものは制限されておりますので、ご理解願います。 また、町(役場)以外が主催するイベント等の情報は、主催団体が情報告知端末で情報発信しておりますが、すべてを網羅しているわけではございませんので、今後関係機関とも協議して効果的な情報発信を検討してまいります。 また、地域おこし協力隊員の活動の一つで「しもかわらばん」というイベント情報の周知がありますので、ご活用ください。	総務
88	買い物は、普段名寄市内のお店を利用しています。新聞をとっていないので、折り込み広告をみることはありませんが、IP電話などで町内の商店街のお買い得情報や、イベントのお知らせがわかればわざわざ隣町へ行かずに済むときもあると感じています。 将来町内に商店街が残っているように、またそこで働く人の雇用が守られるようなるべく町内で買い物をしたいと考えます。《目標8》	ご意見ありがとうございます。 IP電話は、「行政情報告知端末機」として、防災・行政等に関する情報の提供を行うもので、営利を目的としたものは制限されておりますので、ご理解願います。 民間事業者や団体等による企画の情報は、各主催者等へ直接お問い合わせくださいますようよろしくお願いします。	総務
89	2030年に私が望むものは、以下です。 ①生きていくための水がある 循環型森林経営等により健全な森を残していけば問題ないはず	ご意見ありがとうございます。 町では循環型森林経営を引き続き推進してまいります。	森林総合

通番	意見	回答	所管課
90	2030年に私が望むものは、以下です。 ②生きていくための食料がある ・下川で作られた(獲られた)物を下川で買う／食べたい！農家さんのハネ品や家庭菜園で余したものを食べるしくみ。町内のお店でそれを使った商品／メニューを出す。 ・自分で作る！町民農園など作物を作れる場所があったらいい。野菜作りの得意な方に先生になってもらう。人とのつながりも生まれる。	ご意見ありがとうございます。 「小規模多品種農産物生産と循環型流通システム創出事業(P6)」において、家庭菜園等による町民向けの農産物を生産・流通する方法を検討してまいります。	農務 環境未来
91	2030年に私が望むものは、以下です。 ③生きていくためのエネルギーがある ・気軽に薪ストーブを導入できるようにあってほしい！薪屋さんの存在◎。町有林等で出た価値の出ない材を安く燃料用として買えるとか。 ・薪が大変なら町の森資源で作られるペレットストーブ →いずれにしろ、将来なくなる／ぜったい高くなる化石燃料からいかに早くシフトするか ・太陽光・小水力発電も⇒町の大きなみりよくにぜったいなる！ ・しもかわ電気があってほしい！！発電して外に売るのはなく町内で使えてほしい！！エネルギーを外に依存しないってとても強いことだと思います。	ご意見ありがとうございます。 現在、快適住まいづくり促進事業において、住宅に30万円以上の薪ストーブやペレットストーブ等の木質バイオマス活用機器を導入する場合に20万円の補助しており、平成23年度から補助金を利用して20軒に設置されています。今後もより多くの方に設置いただけるよう周知してまいります。 再生可能エネルギーの利用拡大については、「森林バイオマス利用拡大による脱炭素社会構築事業(P6)」において検討してまいります。	森林総合 環境未来

通番	意見	回答	所管課
92	2030年に私が望むものは、以下です。 ④人とのつながりがあり、困ったときに気軽に助けを求められる ・どうやってつながりを作るか→まず人に出会わないといけなから、どう出会うか ・イベントがたくさんあるのはいいこと ・サークル活動があるのもいいこと →ちゃんと情報が知りたい人に行き届いているのだろうか。広報とかで紹介特集をくむとか！ ・世代を超えて交流したい。例えば…野菜・みそ・漬物・釣り・洋裁・料理等々。得意な方に先生になってもらって講演会⇒昔の人の知恵を教えてほしい ・みんなが気軽に集まっておしゃべり出来る場所があったらお年寄りとかはいいのかな…そこに若い人も入るとか。ちゃんとしたお店だと長時間占有したら悪影響だから、コミュニティスペース的にどこか場所を作って、安く(100円とか200円とかで)飲みものとちょっとお菓子があって…。そこで地元の野菜買えたり、託児とか、手作り品が売られてるとかしてたらいい。週1とか隔週とかでも。駄菓子売ったら子ども達集まるのかしら。自分が子どもの時、すごくワクワクする場所だったなと。一の橋など遠いところからでも行ける仕組みを。バスが出るとかその日だけでいいから。	ご意見ありがとうございます。 町では、公区回覧にて年一回、文化サークル等の紹介をしています。引き続き周知してまいります。 また、下川町産業活性化支援機構タウンプロモーション推進部では、毎月1回、様々な人が出会い交流する「タノシモカフェ」を開催しており、ご利用いただければと思います。 なお、町民相互の交流活動や仕組みについては、「みんなで考えみんなで作る環境未来都市推進町民事業」などを活用して町民主体で実施されることを期待しています。	教育委 環境未来
93	未来世代のこと。 ・自分で考え、悩み、壁をのりこえる人になってほしい！今の教育やしつけは、何でも教えすぎ、与えすぎ、過保護じゃないですか？学校のコマの中でなのか、放課後スクールなのか、どこかで子ども達自身に考えさせる、主体性を持たせて、大人がやいやいや言わない時間を作してほしい。 ・個人的には、子ども達は一度町外に出た方がいいと思う。色々な経験を積んで、帰ってきてくれたらいい。そうなるために、学校で下川にいる間に、下川をどう感じるかが大事なのかなと思う。森が楽しかったな、とか、自然系のことで、大人達が楽しそうにしてたな、とか、バカなことしてたなとか、おまつりが楽しかったな、とか、何でもいいけど、心に残る記憶を。町内の農家さん、企業、木工作家さんとかと何かつながりが持てる企画があっても面白そう。折角変人が集う町なのだから、利用しないともったいない。子ども達の価値観に広がりが出ないかなー。そういう世界もあるのか！的な。	ご意見ありがとうございます。 子どもの教育環境の充実や将来の活躍にむけた育成プログラムについて、「生涯活躍！未来人材育成プログラム構築事業(P10)」において検討してまいります。	教委 環境未来

通番	意見	回答	所管課
94	この町が無くならないように町の存続のために、いろいろな取り組みが行われています。そして、また町民ひとり一人の意見を拾い上げようとする、素晴らしい町に住み続けるために思うこと。 住み続けられる町を目指して ①街中循環バス コンパクトな町と言われていますが、深く入り込んだ街中の住宅地と役場・福祉施設・商店街・銀行などを回る循環バス。 一定に決まった時間に回るバス。また、手を上げればどこでも止まって乗せてくれるバス。 活動範囲が広がり、買い物難民や、引きこもり・孤立・認知症の予防、高齢の交通事故予防になる。	ご意見ありがとうございます。 本町では乗り合いタクシーやコミュニティバスの運営等で交通の利便性向上を図ってまいりました。引き続き、利便性の向上に向けて改善策を検討してまいります。	税務住民
95	②商店街に宅配サービス 高齢者や子育て世代に宅配サービスがあると買い物難民を防いだり、高齢者の見守りになる。	ご意見ありがとうございます。 宅配サービスや移動販売については、町内外の民間事業者が既に実施しており、併せて見守りも実施していただいています。引き続き町民のニーズに合ったサービスが展開されることを期待します。	環境未来
96	③いつでも気が向いたら集える場所(サロン・憩い・学び・支援・助け合い) 高齢者・子育て世代・児童が集まる場 世代間の交流は、生きがいや学び・思いやりや助け合いが生まれる。そして、高齢者が子どもの見守り的な役割をすることもできる。	ご意見ありがとうございます。 町民相互の交流の仕組みについては、「みんなで考えみんなでつくる環境未来都市推進町民事業」などを活用して町民主体で実施されることを期待しています。	保健福祉

通番	意見	回答	所管課
97	④高齢者の雇用(収入を得てもらう) 高齢になっても、これまで培って来た経験があります。できることをできる範囲で働いてもらうことは、生きがいになり収入になる。 例えば、 ○家庭菜園でとれた野菜を販売する場所の提供や買取りをする。町の配食業者は、その野菜を使って配食を作り届ける。 ○子どもの見守り・遊び相手として活躍してもらう。 ○玩具の修繕や洋裁・昔の遊びを広めてもらう。 ○高齢者施設で高齢者ができる、布切や洗濯物たたみ、配膳、掃除、話し相手などまだまだ、できることがあると思います。必要とされることがある高齢者は、生きがいを持つことに繋がり、元気になる。また、収入を得ることは、高齢者の貧困率が減り、町での消費につながる。	ご意見ありがとうございます。 「生涯活躍！未来人材育成プログラム構築事業(P10)」や「小規模多品種農産物生産と循環型流通システム創出事業(P6)」などを進める中で、高齢者も町内で活躍できるよう、人材育成プログラムと併せて活躍の場の創出について検討してまいります。	環境未来
98	⑤シニア世代に福祉のサービスや介護保険制度、認知症予防、介護施設など高齢者が抱える問題を勉強してもらう。 事前に知識を身に着け、対応策を講ずるすべを知ること、安心な老後を送ることができる。困らない自分自身になれる。	ご意見ありがとうございます。 また、「生涯活躍！未来人材育成プログラム構築事業(P10)」において、高齢者の第二の人生(セカンドライフ)に向けた教育も含めて検討してまいります。	保健福祉 環境未来
99	⑥困っていることを拾い上げる場 常に常駐した支援者が街中に「集いの場」にすることが必要だと思う。何気ない会話の中に「困りごと」がある。また、認知症かもと思える人の早期発見になる。孤立、孤独死を防ぐことができる。 (認知症は、早期に発見でき早めの薬を飲むことで、進行を遅らせることができ認知症になっても、周りの支えがあれば、一人で暮らすことができる。)	ご意見ありがとうございます。 町では、地域の多様な主体で支え合う地域包括ケアの推進を図っているところであり、引き続きこれを推進してまいります。	保健福祉

通番	意見	回答	所管課
100	⑦街中に公衆浴場(バイオマス銭湯) 高齢者の多くの家は、老朽化しています。「お風呂が古くて寒い」、「壊れたけれど修繕するのは…」 「一人分を沸かすのはもったいない」など、高齢者の楽しみは毎日入れるお風呂です。 五味温泉に通えるうちはいいのですが、毎日はいれません。買い物帰り、病院帰りに立ち寄れる銭湯は、低料金でハイヤーで行くこともできます。 「以前、五味温泉まで行くバスに乗るためには、バス停まで歩かなければならない、バス停までは遠くて不便。」とか「乗り合いのバスは、止まる場所が決まっている。ある時、一人しか乗っていないので家の前までお願いしたら、決まりだからできないと言われた」と聞いたことがあります。	ご意見ありがとうございます。 町では、70歳以上の方に年間30,000円分(300円×100枚)の五味温泉入湯助成を実施しています。 また、乗り合いタクシーやコミュニティバスの運営等で交通の利便性向上を図っているところです。 街中であれば予約することにより、家の前までの送迎が可能でありますのでご希望の場合は、あらかじめ予約願います。 いずれも公共サービスとして一定のルールが必要となりますが、引き続き、利便性の向上に向けて改善策を検討してまいります。 なお、快適住まいづくり促進事業における住宅改修の補助金についても利用促進を図られるよう周知してまいります。	保健福祉 税務住民
101	⑧林業高校(商業高校の中に林業科) 林業大学構想の話は、聞いていますが、今ある高校存続の方がより身近で現実的だと思っています。また、先日の講演の中で下川町の人口問題にも高校存続は不可欠という話を聞きました。もちろん商業科も残してです。 以上、取りまとめのない文章になりましたが、私の思いです。	ご意見ありがとうございます。 北海道が考えます北海道立林業大学校(仮称)については、高卒者以上を対象にしています。下川町を含め、上川地域3市14町2村で誘致期成会を組織して、上川管内に設置の要望活動を行っており、商業高校とは別に検討しています。 高校存続について、下川町で高等学校教育を学べる場所を維持するため高校存続は不可欠であり、今後も高校存続のため施策を継続していきます。	森林総合 教育委

通番	意見	回答	所管課
102	2030年ありたい姿は安全安心に暮らせる下川町であってほしいと願っています。気候変動や災害など今は比較的安定していますが、災害はいつ起こるものか、わからないというのが実状です。そこで災害が起きた場合について考えてみました。(防災計画策定事業の補足) 1. 避難所について 避難所に指定のスポーツセンターは、総合グラウンドに隣接し、有事の際に適した場所であると解釈しています。グラウンドにはヘリコプターが着陸できるなど避難所として必要な広さを確保しています。そのため、スポーツセンター一帯の避難所の選定は正しいと言えます。 2. どうやって逃げるか(ソフト面)について 川が氾濫したと想定した場合、川から近くスポーツセンターまでは比較的遠い場所にお住まいの方の避難経路をどうやって確保するかは今後の課題かと思います。スポーツセンターまで逃げる前の段階でいったん、国道まで逃げる。コモレビ、バスセンターも一時的避難所とするなど考えてもいいのかもしれませんが。 3. 厳冬期の避難所(ハード面)について 電気がストップした場合、暖房が使えません。そこで熱導管をスポーツセンターへ接続しバイオマスボイラを稼働させて冬の期間の暖房に使用するという事も考慮してもいいのかもしれませんが。また、弓道場の付近に蓄電池を設置し、非常時のバックアップ電源として利用するなど、エネルギーの確保が重要になるでしょう。 4. 避難経路(ハード面)について 街灯を非常用電源で点灯するタイプに変えてほしいです。夜に災害が起きた場合、停電したら真っ暗の外を出なければならず、大変危険だと思います。また街灯の設置場所も中央橋の付近から直線でコモレビまで。また役場から直線でスポーツセンターまで。ふるさと通しも街灯を設置してもいいと思います。 以上の4点から、災害が起きる前に備えておきたい点を挙げました。SDGsのアイコンに当てはめると以下の3つになるかと思います。 07番: エネルギーをみんなに。そしてクリーンに。 11番: 住み続けられるまちづくりを。 13番: 気候変動に具体的な対策を。	ご意見ありがとうございます。 1避難所について、現在、避難場所及び指定避難所について、見直し作業を進めていますが、今後もスポーツセンターを中心に想定しております。 2どうやって逃げるか(ソフト面)について及び4 避難経路について 水害の時の避難につきましては、洪水ハザードマップ(今後周知予定)で避難所を設定します。避難についてはまず自分の身を守ることが第一優先ですので、とにかく安全な場所に一時緊急避難する事となります。 避難情報の想定は移動時間を考慮しながら発令されますので、防災訓練などを実施しながら地域と避難方法や避難経路の検証に努めて参ります。また、現在の街路灯は災害時の対応が難しいと思われるので、今後の検討課題で増利増す。災害に備え各自が懐中電灯などを常備する事も大変重要となります。 3厳冬期における避難所の暖房について、現在、町で導入を進めているバイオマスによる地域熱供給システムは、ポンプでお湯を送るため、停電時は、非常用発電機が相当量必要です。蓄電設備にはコスト的・技術的課題があるため今後の技術開発に期待しています。 災害対応は普段からの備え、準備が大切ですので防災研修や訓練を実施しますので出来るだけ参加願いたいと思います。また、災害時には共助の力により、難を免れた事例が多く報告されており、下川町においても共助の体制整備に努めて参ります。	税務住民

通番	意見	回答	所管課
103	素案を読みましたが、とてもわかりづらかったです。改めて町民(生活者)目線の素案の作成を希望します。	ご意見ありがとうございます。 「ありがたい姿」全体において分かりやすい表現に修正いたしました。 また、各打ち手案にはSDGsのアイコンを追加しました。	環境未来
104	目的は「SDGs未来都市」への応募ではないはず。まだまだ町民の中では理解や議論が深まっていないので、継続的な情報発信や議論の場作りをお願いします。自分も日々の暮らしの中で考えていきます。	ご意見ありがとうございます。 今後も「ありがたい姿」について情報発信や議論の場作りに努めてまいります。 また、この「ありがたい姿」、SDGsの考え方を第6期下川町総合計画の策定に取り入れ、今後の地域づくりに活かしてまいりたいと考えております。	環境未来
105	「脱炭素」という言葉が出てきますが、素案の打ち手案だけでは不十分と感ずります。日々の移動という面から化石燃料の使用を見つめ直し、「マイカー」の利用を抑制しましょう。徒歩・自転車・公共交通の利便性を高め、クルマや運転免許がなくても生活できる町を目指しましょう。	ご意見ありがとうございます。 日常生活において自動車の利用は大変便利なものですが、脱炭素社会の構築に向けて、エネルギー利用の無駄を減らすことが必要です。 今後も、エコ・アクション・ポイント(しおりんポイントの一部)において徒歩・自転車・公共交通の利用促進を図るとともに、都市マスタープラン等においても脱炭素化にむけた都市空間を検討してまいります。	建設水道 環境未来
106	災害が起こった場合の避難方法(経路、場所)がわかりません。幼児を育てていますが、もし子連れで避難所で過ごすことになればと思うと不安です。すべての世代、移住者などにもわかりやすく示してくださると安心です。 また、避難訓練もすべての町民が参加しやすいようなやり方で行ってほしいです。《目標13》	ご意見ありがとうございます。 水害時における避難場所、指定避難所を掲載したハザードマップを近日中に配布いたしますのでご確認願います。 全町民が参加する避難訓練が理想です。今年度も工夫を凝らした全町避難訓練を実施する予定です。回覧板や告知端末を通じてお知らせいたしますので、是非参加され、ご意見を頂ければ幸いです。	税務住民
107	室内で体を使って遊べる場がほしい。(冬や雨の日に行く場所がなく、木夢やサンピラーパーク、イオンなど下川を出なくてはいけない。) 児童クラブには短時間利用はよくしますが、小学生中心の場なので利用しづらい時間帯や日にちがあったり、(小学校で)流行している病気があると行く所がありません。	ご意見ありがとうございます。 児童室の利用について、就学前児童については保護者同伴のうえ利用していただいております。児童クラブにおいて小学生が利用する時間帯は込み合っている状況ですが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。 子どもが屋内で体を動かせる場所について、開館時間等の制約もありますが、スポーツセンターなど社会体育施設がありますので、お気軽にご利用ください。	教育委

通番	意見	回答	所管課
108	幼児センターでの森の遊びでは何人の保育士で子ども何人を見ているのか、危険はないのか(くまやダニ、池や水の危険など)、毎月不安に思っ送り出しています。保護者の手伝いなども必要としているのでは…と思います。	ご意見ありがとうございます。 「森のあそび」について、基本的には、幼児センター担任保育士3人のほか、担任以外の保育士1人、AET1人、NPO法人森の生活担当者3人の計8人で対応しております。 ダニ対策については、ダニの付きづらい服装や首に手ぬぐいを巻くなどの措置と帰園後に全身を確認します。また発生率の多い時期は山に入らず公園等での自然体験を実施しています。 熊対策については、事前に笹を刈り、見通しを良くするとともに美桑ヶ丘22線に電熱線を設けるなど安全管理対策を講じておりますので、ご理解願います。	保健福祉
109	ミシンを使える場やパソコン(プリンター)が使える場があるといい。	ご意見ありがとうございます。 ミシンやパソコン、プリンターについては、有料であっても公共サービスの範囲を超えるものと考えており、使える場の設置は考えておりませんのでご理解願います。	環境未来
110	子どもが見れる内容の映画上映があったらいい。	ご意見ありがとうございます。 子どもが見られる内容の映画上映については、年に1回ではありますが、町民文化祭で子ども向け映画上映を行っていますので、ご利用ください。 また、「みんなで考えみんなでつくる環境未来都市推進町民事業」などを活用して町民主体で実施されることを期待しています。	保健福祉 教育委 環境未来
111	自然食品を買える所が下川にもあると嬉しい。	ご意見ありがとうございます。 町民の自然食品の購買ニーズを捉え、商店等において取り扱われることを期待しています。	環境未来
112	町有林以外の私有林、国有林の森林プランナー(林業プランナー)が必要。森林組合の事業としてでは対応しきれないと思うので、町の施策として実施すべき。	ご意見ありがとうございます。 下川町には国有林と市町村フォレスター(森林総合監理士)が在籍している上、名寄市の北海道北部森林室普及課にもフォレスター(森林総合監理士)が在籍し、森林施業プランナーの活動支援に当たっております。こうした状況から、町の施策としてプランナーの育成設置は現段階では検討しておりません。	森林総合

通番	意見	回答	所管課
113	若い木は多くのCO2を吸収する。森林の適切な管理によってCO2の吸収が増え、温暖化対策となり、国からお金が入ってくる仕組み等を検討したり、国へ提案してはどうか。	ご意見ありがとうございます。 町では、平成21年度から適切な森林管理によってCO2の吸収量を国に認証(オフセット・クレジット制度における認証)してもらい、それを企業等と取引することで森林管理への資金を得てきました。引き続き、こうした制度を利用して適切な森林管理に努めてまいります。	環境未来 森林総合
114	【1挑戦 5温故起新】 先人達が残したチャレンジ事例(失敗)をデータベース化する。調査内容や、残された設備・技術・土地物件の有無と再利用の可能性を表記。 (目的) 土地の特性を活かした事例を引き継ぐだけでなく、ノウハウを元にまったく別の利用方法(商材)を再構築する。 (利点) ・土地の特性に合ったリノベーション ・初期チャレンジ労力の軽減化 ・生きた文化の継承	ご意見ありがとうございます。 先人のさまざまな取り組み事例やノウハウ、資本の蓄積と活用は大変重要と考えており、今後の総合計画審議会等における議論を踏まえ、必要に応じて検討してまいります。	環境未来
115	【6進化・深化】 雪氷熱と温度差熱の活用 積雪地・寒冷地である下川町の特性を活かす。 (目的) 災害リスクを再生可能エネルギーへ変換 冬に雪氷化し、夏に冷気を活用、冬は外気を使う。 サーバー設備、食品、農産品、医療機器などの補完へ活用 企業誘致や、過剰生産へのアプローチ、先端技術を見据えた、物の保管、情報の保管、生活の保管を雪から作り出し、サービスを提供する。	ご意見ありがとうございます。 ご指摘のとおり、雪氷冷熱は米などの保存や施設の冷房に等に適していますが、費用対効果などの面から導入が見送られています。今後の技術革新等を調査しながら導入を検討したいと思います。また、町内で発電することができれば、災害にも対応が可能と思います。	森林総合 環境未来

通番	意見	回答	所管課
116	2030下川町ありたい姿」というのは政権が自公であれ、野党連合であれ全町民でワークショップなどして盛り上げていきたいテーマです。 今後小、中、高校生など未来を担う若者に参加してもらって継続的に話し合っていく機会を設けて欲しいと思います。 また、下川町では産業、経済、人口、福祉、教育などなど現在さまざまな分野の課題が山積みであります。SDGsの各目標にあてはめながらいまそこにある課題の解決を図ってほしいと思います。	ご意見ありがとうございます。 「ありたい姿」について情報発信や議論の場作りに努めてまいります。 また、様々な課題の解決につきましては、平成30年度には「ありたい姿」を具体化するための計画策定（総合計画・SDGs未来都市計画など）を行っていく予定ですので、その中で課題解決策を講じてまいります。	環境未来
117	12年後にこうなっていてほしい姿ということですがその間に展開する事業(打ち手)についてはカネのかかるものが多いと思います。 最近、宿泊施設「結いの森」の赤字を補填するという新聞報道がありました。国の事業も縮小の一途でしょうから将来にわたって、過度な町の負担とならないようにお願いします。 想定外だったなどということのないようにお願いします。	ご意見ありがとうございます。 事業実施にあっては、優先度、効果、コスト、財源、財政状況など様々な角度から検討を進め、実施してまいります。	環境未来